

第 39 回 化学工学研究会「未来を照らす光触媒と水素製造・利用技術」

共催： 山口地区化学工学懇話会
山口大学工学部
山口大学化学プロセス強化研究教育推進体
山口大学グリーン社会推進研究会 材料・生産技術部会

日本生まれ、日本育ちの光触媒は様々な分野で実用化が進んでいます。光触媒を使って太陽光から水素ガスを製造する技術は二酸化炭素を排出しない究極のクリーンな水素製造法ですが、未だ実用化には至っていませんでした。しかし、最近の研究の進歩により、もはや夢ではなくなりつつあります。本研究会では、光触媒研究の第一人者に、その科学と工学の面白さをご講演いただきます。また、「水素先進県」を目指す山口県の取り組みと山口大学工学部における光触媒・水素製造利用技術の開発についてもご講演いただき、未来を照らす新エネルギー創出法に関する学習と交流の場を設けることを目的に開催します。

日時：令和 8 年 7 月 17 日（金） 13:00～17:00

場所：山口大学工学部 C11 講義室（場所は次ページを参照ください）

開会 13:00

講演1 (13:05～13:35)

「山口大学工学部における次世代エネルギー技術開発」

概要：山口大学工学部の創成工学科化学系で進める水素製造や電池材料などの次世代エネルギー技術について、研究内容とその魅力を分かりやすく紹介する。

山口大学 准教授 吉田 真明 氏

講演2 (13:35～14:05)

「「水素先進県」の実現を目指した山口県の取組」

概要：全国をリードする「水素先進県」の実現を目指した山口県の取組を紹介する。

山口県産業労働部産業脱炭素化推進室 調整監 大道 要芽 氏

講演3 (14:15～15:45)

「水分解光触媒によるグリーン水素および燃料製造法の現状と課題」

概要：太陽エネルギーと水から製造するいわゆるグリーン水素の大量生産はカーボンニュートラル社会に向けて重要な課題である。現状、太陽電池+電気分解法は実用レベルの技術であるが、製造される水素の値段がかなり高くなる。水分解光触媒による水素製造は、まだ研究開発中の技術であるが将来的に安価なグリーン水素製造の可能性がある。本講演ではこの水素製造法の現状と課題について講演する。

信州大学特別荣誉教授 東京大学特別教授 堂免 一成 氏

閉会

情報・名刺交換会（17:00 頃まで、別会場にて、希望者による交流の場を設定。詳細は当日案内。）

【参加申込】下記アドレス(または右コード)からお申込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/4nNk8sqN7g>

【参加費】無料(定員超過の場合、当懇話会会員を優先)

【申込締切】7月3日(金)12時まで

【申込方法】1名ずつお申し込みください。

【申込の取り消し方法】申し込み後の取り消しは、氏名の後に(取り消し)と書いて再度申込お形でご連絡ください。

【申込内容】送信後、画面右上の・・・をクリックして「回答の印刷」を選択すると、送信内容を印刷できます。申し込み内容を確認する自動返信メールは設定していません。

【配布資料】お申し込みの電子メールアドレスを通じ、制限付き pdf ファイルの配布を予定しています。準備の都合上、締切後の参加申込および当日参加には対応できません。

【諸連絡】懇話会 web サイトへの掲示にて行います。

【懇話会 web サイト】<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~konwakai/>

【問い合わせ先】chem-educ@yamaguchi-u.ac.jp

(即応はできません。場合によっては返信できません。急なご連絡はご遠慮ください。)

【場所】下記の地図はこちらからも閲覧できます。

https://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/campus_map/tokiwa_campus/index.html

講演会場は下記⑬番の CII 教室です。名刺交換会は下記④番の建物の東側 1 階(工学部図書館 Cafe)の予定ですが、詳細は当日案内します。

